健康講座のご案内

「福井ライフ・アカデミー連携」

演　題　名：がん検診の正しい受け方
～日本のがん検診はなぜ効果を上げないのか～

日　　時：令和5年5月13日(第2土曜日) 15:15～16:00

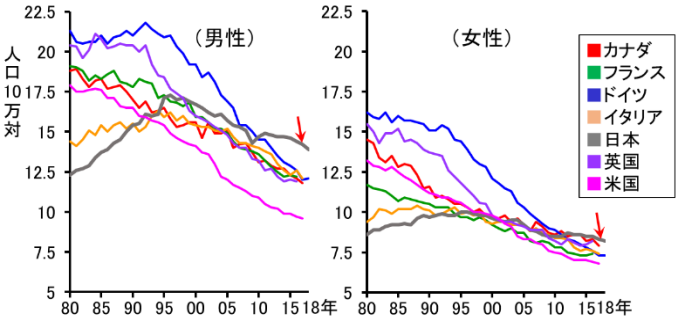
会　　場：県民健康センター　研修室

講　　師：がん検診事業部長　松田　一夫

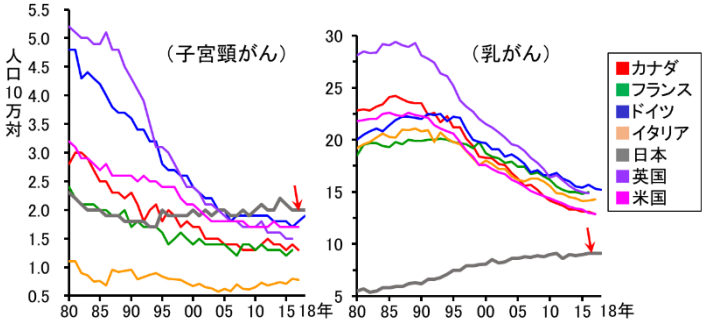
事前の申込は不要です。

先進諸国の中で，大腸がん・子宮頸がん死亡率は日本がもっとも高い状況です。理由は，がん検診を受ける人が少ないからと考えられます。逆に効果がない検診を受けても，何の意味もありません。正しいがん検診の受け方についてお話します。

G7における年齢調整大腸がん死亡率の年次推移



G7における年齢調整子宮頸・乳がん死亡率の年次推移



国が推奨する市町におけるがん検診

	検診方法	対象年齢，検診間隔
肺	胸部Ｘ線検査＋ 高危険群の喀痰細胞診	40歳以上，1年に1回
○大腸	便潜血検査	40歳以上，1年に1回
◎子宮頸	子宮頸部擦過細胞診	20歳以上，2年に1回
◎乳	マンモグラフィ単独	40歳以上，2年に1回
胃	胃Ｘ線または内視鏡	50歳以上，2年に1回 ※Ｘ線は40歳以上，毎年も可

○◎：世界的に広く行われる

受診希望が少ない

×
- 腫瘍マーカー
- PET検査
- 線虫

市町が実施するがん検診の方法を
決められた年齢と間隔で受けるのが重要。
誰もが受けられる体制が必要！！

お問い合わせ先：県民健康センター　TEL: 0776-98-8000